



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：平澤 理 副会長：藤澤健二 幹事：杉本徳治 公共イメージ向上委員長：市川満貞

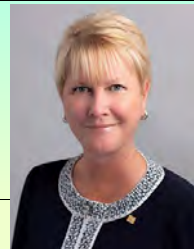


イマジン
ロータリー

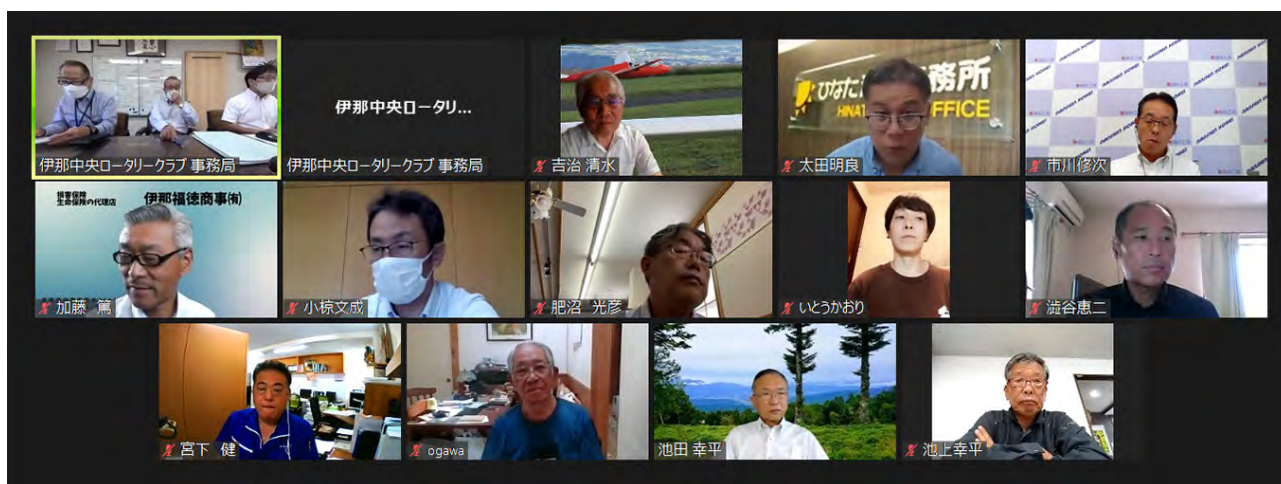
2022-2023 国際ロータリーのテーマ

IMAGINE
ROTARY

2022-2023 RI会長
ジェニファー E.
ジョーンズ
＜カナダ (オンタリオ州) ＞

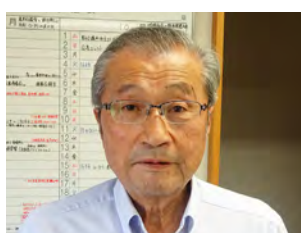


第1633回 完全リモート例会 令和4年9月13日(火)



■ 点 鐘 12:30

■ 会長談話 平澤理会長



旧暦の8月15日の月は「十五夜」と呼ばれ、1年で最も澄んで美しい月として、古くから観賞されています。「中秋の名月」とも呼ばれ、平安貴族が中国の風雅な「観月」の宴を取り入れたものが、後に庶民に広がり、現在でもお月見を行う風習が続いています。日付は、旧暦に合わせて毎年変わります。

この時期になると、風や虫の音にも秋の深まりが感じられるように、辺りの風物すべてが、美しい名月を愛でるのにふさわしい空気を作り出すような時期です。

秋の収穫物を供えて実りに感謝をする行事でもあり、芋類（里芋やさつま芋）の収穫祝いを兼ねるため、「十五夜」は別名「芋名月」と呼ばれています。今年の「十五夜」は9月10日でした。満月を見て楽しむのは、日本の秋の風物詩とも言えますね。

さて、9月1日付の長野日報に「郷土の人物伝」として、作曲家・ピアニストとして活躍された高木東六先生の記事が掲載されていました。

昭和20年、東京の自宅が被災したため伊那町（伊那市）に疎開。昭和27年の11月までの7年半を伊那町で過ごしました。天竜川の土手を散歩中にメロディーがわき、出来上がったのが、代表作の「水色のワルツ」で、大ヒットしたそうです。

伊那に疎開していた縁で「伊那市の歌」をはじめ、上伊那地方の小中学校の校歌なども数多く作曲し、伊那市や上伊那地方に大きな足跡を残しました。平成16年には伊那市役所敷地内に「高木東六先生記念碑」が建立され、伊那市名誉市民第1号に選ばれました。平成18年102才でご逝去。

先生の住まわれた家は、現在も中央区に残って居ります。

■ 幹事報告 杉本徳治幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告

・9月10日（土）～11日（日）第1回次期ガバナー補佐研修セミナーの報告

池田幸平次期ガバナー補佐



9月10日～9月11日松本において、第1回次期ガバナー補佐研修セミナーに出席しました。1日目はロータリーの理念、動き、活動からガバナー補佐の役割、各グループの運営状況等、2日目は折井次期ガバナーの地区運営方針について研修してきました。折井年度は特にポリオ根絶活動に力を入れて取り組んでいくことが示されました。常在国はアフガニスタンとパキスタンの2カ国ですが、ニューヨークやロンドンでも発生したということです。ポリオについて再認識をして、取り組みたいと思います。

・ゴルフ部よりお知らせ 加藤篤ゴルフ部長



ゴルフ部より連絡申し上げます。

先ほどの幹事報告にもありました通り、9月27日はゴルフ例会となります。会場は伊那国際ゴルフクラブ白樺コースでINスタートです。今月15日の締め切りまでまだ日がありますので、これからゴルフを始めてみようという方も含め、ゴルフ部に入っていない会員の皆様のご参加もお待ちしております。本日医療警戒レベルも5に引き下げとなりましたので、夜間例会も開催できるのではないかと期待しております。懇親会の場をお借りして表彰式と総会も開催する予定です。

また、伊那RCとの合同ゴルフコンペを11月12日土曜日開催で予定を進めております。こちらも今から都合をつけて頂きご参加賜りますようお願いいたします。

・「ロータリーの友」9月号紹介 藤澤健二ロータリー情報委員

横組み

- ①「特集 バックナンバーでたどる『友』70年」 7～19 ページ
- ②「ロータリー希望の風奨学金」 20～23 ページ
- ③「一皿からピースフルネスを」 24～33 ページ
京都RC 千玄室さん
- ④おいしい生活のためのヒント「テーマ：う米お話」 36～37 ページ
鎌倉RC 久保田英男さん
- ⑤ロータリー行動計画「適応力を高める」スコットさんにお聞きしました 38～39 ページ
2022-23年度RI副会長 ニッキー・スコットさん
ノース・コッツウォルズRC（イギリス）所属



縦組み

- ⑥「折り返し点からのライフスタイル」 4～8 ページ
建築家 隈研吾さん
- ⑦「この人訪ねて」 9～12 ページ
七尾RC 木下義隆さん
- ⑧卓話の泉「おいしいお米の味わい方」 13 ページ
片山真一さん
- ⑨ロータリーアットワーク
「古着 de ワクチン」 松本RC 23 ページ
「ウクライナから避難してきた中学生」 笹岡東RC 24 ページ
「コロナ禍での困窮者へフードドライブを実施」 東京日野RC・東京飛火野RC 26 ページ

■ ニコニコボックス

◆平澤理

◆杉本徳治

◆田中真人



■ 出席報告

会員数47名 出席免除会員5名 長欠会員1名
本日出席率100% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム

「ロータリー財団委員会」 松田靖宏ロータリー財団委員長

地区補助金事業「未来へつなぐ森林（もり）づくり」



例年ですと、地区補助金事業の事前学習ということで講師の方をお呼びしてお話をいただくところですが、コロナの状況でオンライン例会となりましたので、今日は私から、今年の地区補助金事業の概要をお話させていただきます。

先日の幹事報告にもありましたが、ロータリー財団より地区補助金119,816円がクラブに振り込まれております。この補助金にクラブからの事業費をプラスしていただき、今年の事業を行います。

昨年で3年になりますが、この地区補助金事業で市民の森林整備事業として、ますみヶ丘平地林にコナラを植林しました。今年も広葉樹の400本の植林を予定しておりますが、この事業はこれからの持続可能な社会を目指す為にも大変意義のある活動で、まだまだ継続が必要と思えます。

今年は事業の名称を「未来へつなぐ森林（もり）づくり」といたしました。実施日は10月22日（土）です。

先程、植林の事業は持続可能な社会を目指す為にも大変意義のある活動と申し上げましたが、その為にも、会員の方の参加は勿論ですが、出来る限り未来を担う子供達に一人でも多く参加していただき、この活動を次世代へ繋いでいくことが私たちの役割だと思います。伊那西インターアクトクラブの皆さんには毎回参加していただいておりますが、その他にアルプスイーなちゃんソフトボールクラブの方々の参加について、小椋会員から働きかけをしていただいております。会員の皆さんも是非、子供さんやお孫さんと一緒にご参加をお願いいたします。

私たちは植林の体験を通して森の成り立ちや、動植物の生態、そして地球環境まで多くの事を学んできましたが、今年は森林教育の一環として、3年間植林をしてきた現場でコナラの成長を確認しながら、NPO法人伊那谷森と人を結ぶ協議会代表理事稲邊様にお話しをしていただけたらと計画しております。

また、10月24日世界ポリオデーに合わせて、会場での募金活動を行います。会員の皆さんも周りの方にお声がけいただき、事業を盛り上げていただきますよう宜しくお願いいたします。

■ 点 鐘

13:00

次回例会

9月27日（火）

・集合 8:20 ゴルフコンペ（信州伊那国際ゴルフクラブ）

・点鐘 18:30 夜間例会（海老屋料理店）